2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年８月７日

上場会社名　　テイカ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4027　　ＵＲＬ　https://www.tayca.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　社長執行役員　　（氏名）出井　俊治
問合せ先責任者　（役職名）取締役　上席執行役員　　（氏名）中村　弘　　ＴＥＬ　06-6943-6401

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	16,170	18.2	1,306	36.4	1,737	59.1	1,225	63.6
2026年３月期第１四半期	13,681	0.5	957	△17.9	1,091	△23.9	748	△22.7

（注）包括利益　2027年３月期第１四半期　1,385百万円（160.3%）　2026年３月期第１四半期　532百万円（△70.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	53.86	－
2026年３月期第１四半期	32.82	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期第１四半期	89,994	61,633	67.9
2026年３月期	88,558	61,491	68.9

（参考）自己資本　2027年３月期第１四半期　61,103百万円　2026年３月期　60,972百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	20.00	－	40.00	60.00
2027年３月期	－				
2027年３月期（予想）		40.00	－	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	29,500	9.0	1,800	27.9	2,100	34.5	1,400	33.7	61.32
通期	59,500	3.7	2,500	14.9	2,900	8.5	1,800	－	78.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	22,914,414株	2026年３月期	23,914,414株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	252,831株	2026年３月期	1,083,607株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	22,753,461株	2026年３月期１Ｑ	22,818,214株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善するとともに、企業の設備投資も堅調に推移し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、地政学リスクに起因する原燃料価格の高止まりに加え、米国の通商政策の動向など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、新たな中期経営計画「MOVING-10 STAGE３」を策定し、成長事業である圧電材料及び導電性高分子薬剤の更なる拡大と新規事業創出に取り組むとともに、汎用製品分野では市場環境の変化に応じて事業構造の改革を行うことで、より一層の企業価値向上を図ってまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、電子材料・化成品事業の導電性高分子薬剤の販売がAIサーバー等の情報インフラ用途向けや車載関連向けを中心に伸長したことに加えて、同事業の界面活性剤及び医療・圧電関連事業の圧電材料の販売も海外連結子会社を含め好調に推移したこと等により、売上高は161億７千万円（前年同期比18.2％増）、営業利益は13億６百万円（前年同期比36.4％増）、経常利益は17億３千７百万円（前年同期比59.1％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億２千５百万円（前年同期比63.6％増）となりました。

セグメント別の業績につきましては、機能性材料事業の売上高は73億９千７百万円（前年同期比8.0％増）、電子材料・化成品事業の売上高は72億１千８百万円（前年同期比28.7％増）、医療・圧電関連事業の売上高は12億６千１百万円（前年同期比32.9％増）、その他の売上高は２億９千３百万円（前年同期比7.9％増）となりました。なお、当第１四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントの構成を変更しており、前年同期対比は変更後の区分に基づいております。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は、899億９千４百万円（前連結会計年度末比14億３千６百万円増加）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が11億５千６百万円、原材料及び貯蔵品が12億８千７百万円、それぞれ増加し、現金及び預金が８億２千６百万円減少したことによります。

負債合計は、283億６千１百万円（前連結会計年度末比12億９千４百万円増加）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が17億３千３百万円増加し、長期借入金が10億１千３百万円減少したことによります。

純資産合計は616億３千３百万円（前連結会計年度末比１億４千１百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が３億５千７百万円増加したことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の第２四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、当第１四半期の業績や今後の業績動向などを踏まえ、2026年５月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2027年３月期第２四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2027年３月期の通期の業績予想につきましては、2026年５月13日に公表いたしました業績予想から変更はありませんが、今後の状況を注視し、見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,273	10,446
受取手形及び売掛金	16,867	18,023
電子記録債権	704	775
商品及び製品	9,790	9,661
仕掛品	2,721	2,685
原材料及び貯蔵品	5,592	6,879
その他	931	877
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	47,873	49,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,257	8,147
機械装置及び運搬具（純額）	7,530	7,330
その他（純額）	5,589	5,738
有形固定資産合計	21,377	21,217
無形固定資産		
のれん	664	593
その他	181	174
無形固定資産合計	845	768
投資その他の資産		
投資有価証券	17,556	17,779
その他	923	907
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	18,460	18,666
固定資産合計	40,684	40,652
資産合計	88,558	89,994

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,066	7,800
短期借入金	6,568	6,478
未払法人税等	211	377
賞与引当金	418	154
その他	2,897	3,511
流動負債合計	16,162	18,323
固定負債		
長期借入金	5,809	4,796
退職給付に係る負債	2,079	2,053
その他	3,016	3,188
固定負債合計	10,904	10,038
負債合計	27,066	28,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	4,965	3,818
利益剰余金	34,503	34,860
自己株式	△1,197	△426
株主資本合計	48,127	48,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,246	10,403
為替換算調整勘定	1,863	1,876
退職給付に係る調整累計額	735	713
その他の包括利益累計額合計	12,845	12,994
非支配株主持分	518	530
純資産合計	61,491	61,633
負債純資産合計	88,558	89,994

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
売上高	13,681	16,170
売上原価	11,026	13,029
売上総利益	2,654	3,141
販売費及び一般管理費	1,696	1,835
営業利益	957	1,306
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	202	305
為替差益	－	80
その他	22	90
営業外収益合計	232	484
営業外費用		
支払利息	30	45
為替差損	63	－
その他	4	7
営業外費用合計	98	53
経常利益	1,091	1,737
特別利益		
投資有価証券売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	27	24
特別損失合計	27	24
税金等調整前四半期純利益	1,066	1,714
法人税、住民税及び事業税	177	339
法人税等調整額	129	132
法人税等合計	307	471
四半期純利益	759	1,243
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	748	1,225

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
四半期純利益	759	1,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104	157
為替換算調整勘定	△318	6
退職給付に係る調整額	△12	△22
その他の包括利益合計	△227	142
四半期包括利益	532	1,385
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	548	1,374
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	11

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2026年５月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式169,100株を取得いたしました。当該自己株式の取得および単元未満株式124株の取得により、当第１四半期連結会計期間において自己株式は375百万円増加しております。

（自己株式の消却）

当社は、2026年５月13日開催の取締役会決議に基づき、2026年５月27日付で自己株式1,000,000株を消却いたしました。この結果、当第１四半期連結会計期間において、資本剰余金及び自己株式が1,146百万円それぞれ減少しております。

これらの結果、当第１四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,818百万円、自己株式が426百万円（252,831株）となりました。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
減価償却費	737百万円	863百万円
のれんの償却額	79　〃	84　〃

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機能性材料事業	電子材料・化成品事業	医療・圧電関連事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,849	5,610	948	13,409	272	－	13,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	321	(321)	－
計	6,849	5,610	948	13,409	593	(321)	13,681
セグメント利益	274	566	54	895	59	3	957

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額３百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機能性材料事業	電子材料・化成品事業	医療・圧電関連事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,397	7,218	1,261	15,876	293	－	16,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	332	(332)	－
計	7,397	7,218	1,261	15,876	625	(332)	16,170
セグメント利益	283	750	216	1,250	57	(1)	1,306

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△１百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

中期経営計画（2026～2029年度）「MOVING-10 STAGE３」において定めた成長事業を重点拡大する方針に基づく組織再編や経営管理区分の見直しに伴い、より事業実態に即したセグメント報告を行うため、当第１四半期連結会計期間より、従来の「機能性材料事業」と「電子材料・化成品事業」から、「機能性材料事業」、「電子材料・化成品事業」及び「医療・圧電関連事業」に変更しております。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

各報告セグメントに属する主な製品は次のとおりであります。
(1)機能性材料事業……酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品等
(2)電子材料・化成品事業……導電性高分子薬剤、界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料等
(3)医療・圧電関連事業……圧電材料